

議会だより

たかねざわ

1

January, 2023
No163

未来を見つめて

Contents

- 第417回定例会…………… 2
- 委員会審査…………… 4
- 全員協議会…………… 6
- 新庁舎整備検討特別委員会…………… 7
- 一般質問…………… 8
- 子育て世代と議員とのカフェ・ド・ギカイ…………… 16
- 突撃インタビュー 加藤 夕美さん…………… 20

特集

子育て世代と議員との
カフェ・ド・ギカイ



開かれた議会、より一層の透明化に向け 「町議会政治倫理条例」改正！

価格高騰への緊急支援を承認

(町長専決補正予算)

12月定例会



第417回議会定例会のあらまし

定例会は、11月30日から12月8日までの9日間の日程で開催されました。町長専決処分1件、条例の一部改正1件、条例制定2件、補正予算1件、町道路線認定1件、人権擁護委員の推薦1件、陳情1件、議員発議による条例の一部改正1件などを審議しました。5日と6日は、まちづくり・くらしづくり各常任委員会において議案を審査(P4・5)し、最終日に両委員長が審査結果を報告、原案全てを可決、承認または同意しました。さらに、条例の一部改正3件、補正予算5件が追加議案として上程され、全議案を審議し、すべて可決しました。一般質問は7人の議員が行い、新庁舎整備や子育て支援、教育の充実、経済活動などについて町政を質しました(P8~15)。

町長専決処分 = 一般会計補正予算

主な歳出補正

○電力・ガス・食料品等
価格高騰緊急支援給付
金給付事業費の計上
1億6400万円

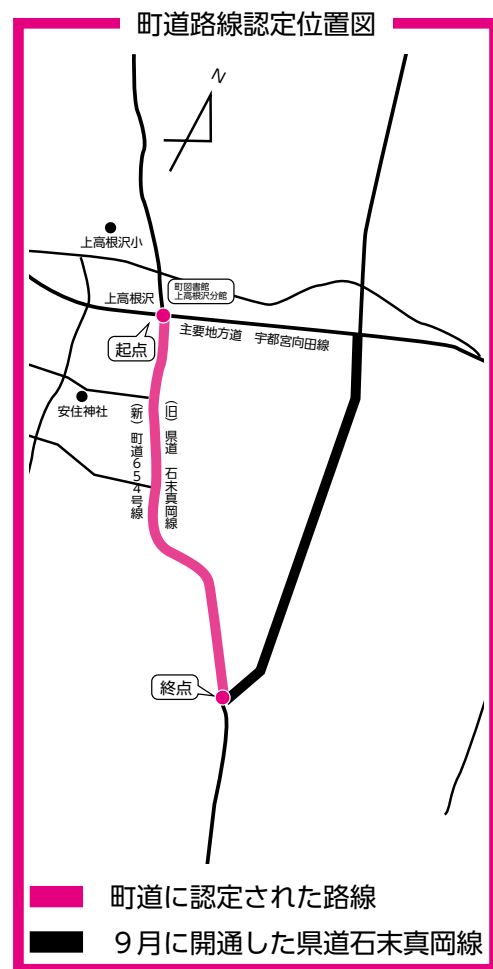
内容
電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増により、特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯等に対し、支援金を給付するものです。
一世帯当たり国の5万円に合わせ、町独自に3万円を上乗せし、合計8万円を給付します。

条例一部改正

○選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正(P6)

町道路線認定

内容 県道石末真岡線上高根沢工区が開通したことにより、これまでの県道を町道に認定するものです。



県道石末真岡線上高根沢工区開通式

議員発議による条例の一部改正

令和3年9月、町執行部から「議員から、勤務時間外や休日に職員個人の携帯に電話して恫喝するような口調で業務を命令したり、また、頻りに役場の公用電話や職員個人の携帯に電話し、高圧的な態度で現場を見に来るよう命令することが多発しており、職員の業務に支障をきたしているとの苦情が副町長あてに寄せられている。今後、そのような行為は一切控えてほしい」との要請を受け、議員による検討を行い、議会政治倫理条例を改正しました。

内容

条例第4条は「議員は、次の各号に掲げる政治倫理基準を遵守しなければならない」と、議員の倫理基準を定めています。この条項に、議員としてより一層襟を正す、次の5つの内容を加えるものです。

- ①町職員に対して、セクシャル・ハラスメント、その他人権侵害のおそれがある行為をしないこと
- ②議員としての発言または情報発信は、法令や確たる事実等に基づいて行うこと
- ③反社会的勢力等を利用したり、利用されたり、または反社会的勢力等に関与しないこと
- ④特定の新聞、雑誌または機関誌の購読を強要しないこと
- ⑤議員として行うべき職務を誠実にを行うこと



条例一部改正 (追加議案)

また、条例第9条では、「政治倫理審査会から審査結果の報告を受けたときは、議会広報紙等への掲載により公表しなければならない」と規定されていますが、審査会を設置したときにも公表するように改正しました。

- 議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
- 町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正
- 職員の給与に関する条例の一部改正

内容

人事院勧告に基づき、議員、町長等の期末手当を0.05月分引き上げ、職員の給料月額を改定し、勤勉手当を0.1月分引き上げるものです。

一般会計・特別会計・企業会計 補正予算 (追加議案)

- 一般会計
- 介護保険特別会計
- 宝積寺駅西第一土地区画整理事業特別会計
- 水道事業会計
- 下水道事業会計

内容

人事院勧告に基づいた議員報酬、町長等の給与、職員の給与と条例等の改正により財源を担保するものや、出産・子育て応援交付金交付事業の補正予算です。

人権擁護委員の 推薦に同意

任期満了に伴う人権擁護委員の選任について、再び古口道子氏を法務大臣に推薦することに同意しました。



古口道子氏 (上柏崎)

委員は、人権擁護委員法に基づいて、人権相談を受けたり、人権の考えを広めたりする活動を行います。

なお、任期は令和5年4月1日から2年間です。



議案の採決結果はホームページで確認してください



みんなが利用しやすい庁舎を！

「新庁舎整備基本構想提言書」を町に提出

町に提出した提言書



提言書を協議する町議会新庁舎整備検討特別委員会

新庁舎整備検討特別委員会報告

町では、新庁舎の整備
に「高根沢町新庁舎
整備検討委員会」を令和
3年10月に設置し、学識
経験者や各種団体推薦者、
公募者等の委員の構成
(20名)で、新庁舎整備
基本構想の策定を進めて
います。

町議会は、独自に新庁
舎整備の調査・研究を行
い、町が定める新庁舎整
備基本構想と基本計画に
対し提言を行うため、令
和4年6月定例会で「高
根沢町議会新庁舎整備検
討特別委員会」を設置し
ました。

当委員会では、
新庁舎整備を担当
する総務課からの
聞き取りや、壬生
町および那珂川町
の視察を踏まえな
がら議論を重ね、
「新庁舎整備基本
構想」に対する提
言をまとめました。
全員協議会にて
協議を行い、11月
15日、議長は「新
庁舎整備基本構想
に対する提言書」
を町長に提出しま
した。

主な提言内容

町民が利用しやすい庁舎

- 全機関は本庁舎に集約
- 十分な駐車場を確保
- 窓口機能は同一フロアに集中
- ユニバーサルデザインを採用

職員が働きやすい庁舎

- 余裕を持った執務スペースの確保
- ITの進歩など社会変化に対応できる構造
- 災害に強く、防災の拠点となる庁舎
- 建設場所は、浸水想定区域外
- 耐震性能に優れた庁舎
- 防火対策として雨水の利用

環境に配慮した庁舎

- 再生可能エネルギーの利用
- 雨水をトイレ用水として再利用するなど、環境負荷を減らす仕組み
- 自然の光や風を取り入れCO₂排出量を削減

維持しやすい庁舎

- 機能性や効率性を重視したシンプルな構造物
- ランニングコストの低い庁舎
- メンテナンスを考慮した作り
- 必要な耐震性と耐久性を兼ね備えた庁舎となるよう、様々な建設手法の検討

活発に審議できる議会

- 高齢者や障がい者、子ども連れでも傍聴しやすい議場
- スペース的にゆとりを持った議場
- その他
- 国の補助金など支援制度の有効活用を図る
- 住民や議会の意見の反映に努める
- 公共施設の再編についても検討する



広々とした利用しやすいスペース (壬生町庁舎)

選挙費用の公費負担引上げや コロナワクチン接種の促進

11月21日

全員協議会
NEWS

12月定例会に上程する議案のほか、町原油価格高騰緊急経済対策補助金、パブリックコメントの実施、いちご一会とちぎ国体実施報告などの説明が、執行部からありました。

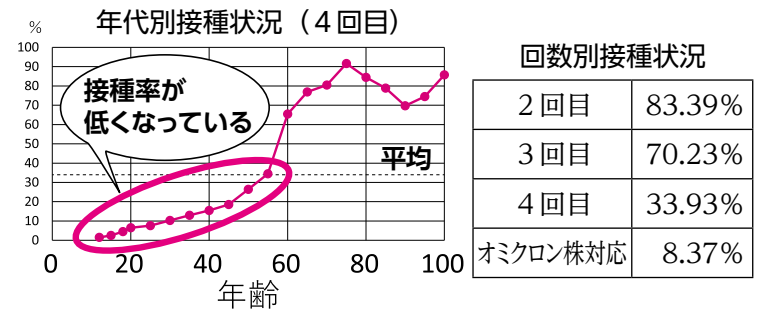
選挙運動の公費負担 条例の一部改正

公職選挙法施行例の一部を改正する政令が令和4年4月6日に施行され、国の選挙運動の公費負担額が引き上げられました。これに伴い、町議会議員および町長の選挙においても、選挙運動用自動車の使用や選挙運動用ポスター等の作成に要する公費負担の限度額を引き上げるため、条例改正をするものです。



新型コロナウイルス ワクチンの接種状況

(11月13日現在)



若い世代の積極的な ワクチン接種を

学校や幼稚園・保育園で子どもが感染し、家庭内に広がることも多くなっています。

「オミクロン株対応ワクチン」の若い世代の積極的な接種が望まれます。

安心して産み育てられるまちへ 出産・子育て応援交付金交付事業

12月8日

全員協議会
NEWS

12月定例会最終日に追加で上程される議案と、その補正予算で行われる事業について、執行部から説明を受けました。

令和4年度出産・子育て応援交付金事業

国は、妊娠・出産した女性を応援する事業として「出産準備金」を令和5年1月から実施します。これに伴い、町は全ての妊娠・子育て家庭が、安心して出産・子育てができる環境を整備するため、妊娠期から出産時の経済的支援として、令和4年度出産・子育て応援交付金事業を行います。



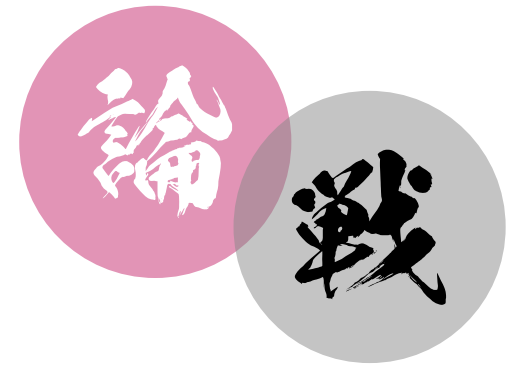
若い世代が安心して子育てができるまちづくりを！

事業の内容
妊娠から出産・子育てまでの様々なニーズに即した支援につながる型の相談支援としての面談を妊娠届出時と出産届出時に行い、また経済的支援として合計10万円の交付を実施します。

少子化対策・子育て支援に十分なのか

核家族や、共働き家庭が増えている中で、「産後ケア」や「家事支援サービス」、「保育園入所」、「学校教育費」等問題が山積しており、子育て支援への抜本的な対策が求められます。

町民の声を 町政に！



一般質問って？

「一般質問」は、町の行財政全般に関し、議員主導で政策的な論議をする場です。質問時間は、一人につき質問、答弁、再質問を含め60分以内です。

一般質問の動画

一般質問の各議員のページにある二次元バーコード、またはYouTubeで「高根沢町議会 第417回」で検索を！

DVDは、図書館中央館で貸し出しています。

傍聴者の声



みずもと きよこ
水沼喜代子さん
(宝石台)

- ◆小池 哲也 議員…………… 9
 - ①木のぬくもりを感じる新庁舎を
 - ②「もえるごみ」を「もやすごみ」に
 - ③キャッシュレスポイント還元事業に取り組んでは
- ◆野口 昌宏 議員…………… 10
 - ①「第2のひよこの家」の設置を
 - ②難病医療費助成制度申請者の負担軽減を
- ◆齋藤 武男 議員…………… 11
 - ①体育館にエアコン設置を
 - ②新規就農者育成事業に対する助成金の考えは
- ◆菅谷 英夫 議員…………… 12
 - ①町独自の経済的子育て支援を
- ◆横須賀忠利 議員…………… 13
 - ①新庁舎整備に係る農地の利活用は
 - ②阿久津小学校の安定管理体制を
- ◆森 弘子 議員…………… 14
 - ①子育て世帯に経済的負担軽減を
 - ②住民主体による生活支援サービスの取組を
- ◆小林 栄治 議員…………… 15
 - ①地域通貨を発行してみても
 - ②信頼・相互理解を深める社会の基は

※本紙では、質問を要約して掲載しています。

会議録

会議録は、定例会及び臨時会の終了後、約3ヶ月後に発行しています。図書館中央館で閲覧ができます。また、町ホームページの「会議録検索システム」からご覧になれます。



会議録検索システム

毎回傍聴するたびに、生の質疑応答を聞かせて頂く事でとても勉強になります。質問される議員さんは勉強をしてデータを集めたり、視察に行ったりと努力していると思います。世界の情勢が刻々と変化しております。私たち一人一人が自分なりに地域の一住民としていろいろなことに対して目を向けることが大切だと思っております。議員さんの質問や思いを共有して、私自身も社会参加したい、そんな思いです。子どもや孫たちのためにも高根沢町が住みよい町、持続可能な町、楽しい街になるように願っております。

木のぬくもりを感じる新庁舎を 答【町長】木材の活用は選択肢の一つ



一般質問の動画はこちら！ 小池 哲也 議員

新庁舎

環境を考慮し
木材を検討しては

Q 新庁舎整備検討委員が建設に向けて検討を行っており、町のシンボルとして、町民が皆誇りに思う建築物になるよう期待している。

A 町長 木材は製造・加工に要するエネルギーやCO₂排出量が少なく、環境に配慮した建築資材であり、新庁舎整備の選択肢の一つ。建築物の構造や資材は新技術の開発も日々進んでおり、「高根沢町ゼロカーボンシティ宣言」と新庁舎がマッチする最適な構造や資材について総合的な検討を進めていく。

Q 新庁舎整備検討委員が建設に向けて検討を行っており、町のシンボルとして、町民が皆誇りに思う建築物になるよう期待している。

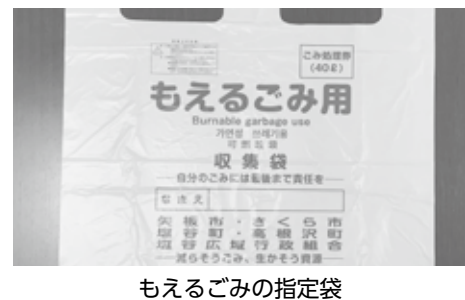
「もえるごみ」を「もやすごみ」に 「もやすごみ」に 答【町長】塩谷広域に 提案したい

環境

ごみ意識の高揚を

Q ごみの減量化を進めるため、「もえるごみ」を、「もやすごみ」に変えてはどうか。

A 町長 本町では「もえるごみ」と呼んでいるが、「もやすごみ」への変更により、町民の皆さんのごみの減量化に対する意識が向上するのではないかと考える。現在、2市2町と塩谷広域行政組合の衛生担当が新しい指定袋の作成を検討しており、皆さんから寄せられたご意見を参考に、材質をバイオプラスチックなどの環境配慮型にすることや、10リットルの指定袋を追加することなどを提案している。



もえるごみの指定袋

地球環境にやさしく、持続可能なまちづくりに向けた施策の一つとして、表記変更についても提案したい。

キャッシュレスポイント還元事業に取り組んでは 答【町長】必要と判断した場合 には検討しよう

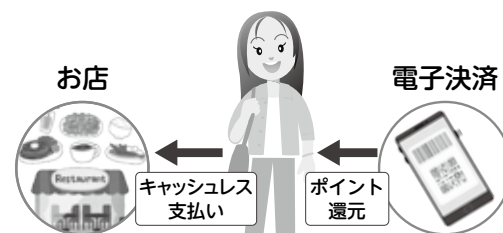
地域経済

地域経済の活性化を

Q 新型コロナウイルス禍や、ロシアのウクライナ侵攻による物価の高騰は、生活者の懐を苦しめている。

A 町長 想定を超えるコロナ禍の長期化、深刻化、原油価格・物価高騰の中、町内の中小事業者の事業継続をいかに支援していく。

今後財源が確保され、地域経済の活性化を図るための施策としては、必要と判断した際には、キャッシュレスポイント還元事業手法を検討していく。



スマホを活用し経済対策を



問 体育館にエアコン設置を

答【教育長】エアコン設置は不可欠



一般質問の動画はこちら！

齋藤 武男 議員

教育



災害時避難場所となる体育館の環境改善は？

Q 地球温暖化が進み、平均気温がますます上昇することが予測される。体育館は熱気がこもりやすく、熱中症対策の根本的解決にはエアコン設置が不可欠と感じている。

A 教育長

東小学校校舎整備検討委員会より提出された提言書を踏まえて、整備が図られた。北高根沢中学校の校庭や体育館北側の運動場を併せて活用し、支障なく学校活動が行えている。学校現場からも、校庭が狭小で不便であるとの声や要望はないことから、拡張は考えていない。

A 教育長

Q 東小学校の校庭は国の基準はクリアしているが狭小のため、拡張の考えは？

したがって、国の補助金の動向を見ながら、先進事例の情報を収集して設置費や維持管理費等の費用面について検証を行い、設置に向けて検討を進めていきたい。

おごらじゅん 学ばだめじ



グリーンさくら・実習圃場（さくら市櫻野）

Q JAしおのやは地域農業の発展や後継者育成のため、子会社（グリーンさくら）を立ち上げ同事業を立ち上げている。新規就農者育成には不可欠な事業であることに鑑み、当町でも助成金を支出する考えは？

Q 町長

令和5年度から、新規就農者育成研修を受ける就農希望者のうち研修終了後に町内で就農することが見込まれるものに対し、JAしおのやが支給する研修手当に係る経費の一部について、他市町と同様に助成することで予算化する。

A 町長

物価高騰対策を

Q 価格高騰が著しい肥料購入費に対し、町として支援してはどうか？

A 町長

限られた財源の中、既に農業に対する支援事業を複数実施している。これらを継続していくことが重要であると考えていることから、国・県において価格高騰対策が実施されている肥料費に対し、さらに町として支援する考えはない。



問 「第2のひよこの家」の設置を

答【教育長】現在の取り組みを継続したい



一般質問の動画はこちら！

野口 昌宏 議員

教育



いそがず、ゆっくり、心をいやす場に

Q 文部科学省が発表した、昨年度の全国小中学校の不登校の児童生徒は、24万4940人にのぼり、特に小学生の不登校数は10年前に比べて4倍近い増加をしている。このような状況の中、「ひよこの家」への期待は増々大きくなると思われることから、思春期前期の中学生と、心身の発達が顕著な小学生とを分け、小学生の受け入れに特化した「第2のひよこの家」を設置する考えは？

小学生に特化した「第2のひよこの家」

A 教育長

「ひよこの家」は平成15年に開設以来、心と体を休めつつ社会的自立を目指す「居場所」として運営している。本町における不登校児童生徒の数は、栃木県の出現率と比較して低い割合を維持しており、特に小学生は低い状況にある。これは、他の市町に先駆けてスクールカウンセラーやソーシャルワーカーなどを町独自に配置し、小学校においては「個別の支援教室」の設置や学校支援員を配置などすることで、未然防止に寄与しているものと受け止めている。

今後もこのような取り組みを継続していくことから、小学生に特化した「ひよこの家」は現状では考えていない。



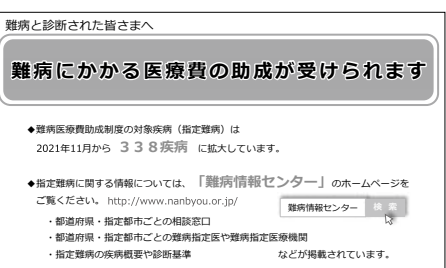
問 難病医療費助成制度申請者の負担軽減を

答【町長】現行の体制で、できる限り対象者の負担を減らしたい

手続きをサポートする要員の配置を

出張窓口の回数を増やすよう要請する考えは

Q 難病医療費の助成手続きは、申請手続きが容易ではないが、毎年、矢板健康福祉センターまで直接出かける必要がある。難病を抱えている方にとって、この手続きは身体に著しい負担がかかることから、その手続きの代行や助言を行うサポート要員を町で配置する考えは？



難病医療費助成制度（厚労省HPから引用）

A 町長

その申請にあたっては、専門の職員が本人と直接会うことで、本人と緊密に情報共有を図ることができるという利点がある。「申請が難しくてわからない」という心理的な不安を払拭するためにも、来所のメリットを活かしながら、ご家族の負担も軽減できるよう「町としてできる範囲でのサポート」を丁寧に行っていきたいと考えている。

A 町長

町としては、ご本人や家族の負担軽減に資するとの考えから、県に要望する考えはある。今後も、県に対して負担軽減を図るよう矢板健康福祉センターと連絡を密に行っていきたい。

問 新規就農者育成事業に対する助成金の考えは

答【町長】経費の一部を助成する

農業

研修手当で助成を

A 町長

令和5年度から、新規就農者育成研修を受ける就農希望者のうち研修終了後に町内で就農することが見込まれるものに対し、JAしおのやが支給する研修手当に係る経費の一部について、他市町と同様に助成することで予算化する。



問新庁舎整備に係る農地の利活用は 答【町長】まだ検討する段階ではない



一般質問の動画はこちら！

横須賀忠利 議員



未来の土地利用は？

Q 農地の利活用は
町民広場に近隣の農地を
活用する考えはあるか？

A 町長
町民広場に新庁舎を整備する場合、既存施設の複合化や集約化についても検討することとされている。想定される施設の規模や配置については現時点で未定であることから、民有地である近隣農地を新庁舎の建設に併せて活用することについては、今はまだ検討する段階にはない。

Q 農振計画の見直しは
今後新庁舎の敷地として町民広場近隣の農地の活用を可能とするために、町の農業振興地域整備計画を見直す考えはあるか？

A 町長
農業振興地域整備計画は、農地を他の目的で利活用させるための計画ではなく、優良な農地を保全するとともに、農業振興のための各種施策を計画的に実施するために、町が定める総合的な農業振興の計画である。したがって、新庁舎整備のために前もって計画を見直すことはない。

Q 安全安心な学校を
校舎完成後、校舎の安全管理や検査等はどのように行っているのか？

A 教育長
町・設計会社・請負会社による、6か月点検、1年点検、2年点検、5年点検を実施してきた。また、令和元年度からは、専門業者による「定期点検」を3年に一度実施しているほか、令和2年度からは、町教育委員会と小中学校とが共同で「自主点検」を毎年度実施している。



校舎の安全管理は？
(阿久津小学校)



問阿久津小学校の安全管理体制を 答【教育長】安全管理に取り組んでいる



施工内容はどうか

Q これまで、瑕疵とされた施工内容はあるものか？

A 教育長
点検において見つかったクラック等の不具合については施工業者に対応していただいた。

問町独自の経済的子育て支援を

答【教育長】子育ての場面に応じて支援



菅谷 英夫 議員

一般質問の動画はこちら！

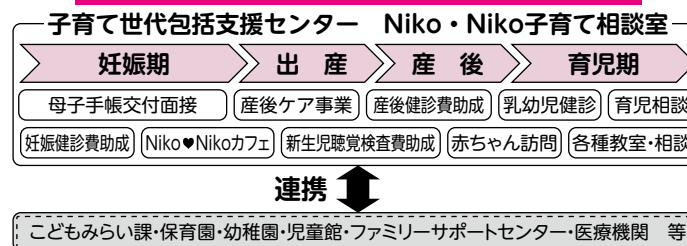


“ようこそ”～産声はしあわせの響き～

Q 国における出産・子育て応援交付金(※)の創設に合わせ、町独自の支援として1歳および2歳時に「誕生日祝い金」を支給しては？

A 教育長
18歳までのこども医療費の現物給付や、幼稚園・保育園における副食費の一部免除など、子育ての場面に応じた継続的な支援を実施している。一時的な「誕生日祝い金」の創設は、現在のところ考えていない。安心して出産・子育てができるようにするためには、経済的支援だけではなく、相談支援を伴走型で切れ目なく実施することが重要で、町では「子育て世代包括支援センター」と「子ども家庭総合支援拠点」により、切れ目のないサポート体制を整えている。

切れ目のない町の子育て支援のサポート体制



※出産・子育て応援交付金
妊娠から出産時、また0歳から2歳の低年齢期の子育て家庭に寄り添い、支援していくための伴走型相談支援と経済的支援を一体として実施する事業を支援するための国の交付金。経済的支援として、令和4年4月以降の出産に対し、妊娠届出時に5万円相当、出生届出時に5万円相当が支給される。(事業開始前の出産に対しては、計10万円相当)

「子育てで困ったことがあったら」これ。相談窓口や医療機関、子育て支援施設、子育てサークルなど、役立つ情報が掲載されています。



Q 出産・子育て応援交付金の経済的支援は、地域経済の活性化の観点から現金ではなくクーポンとしては？
また、同時に一時保育の利用料など、子育て関連事業の料金にも使えるようにしてはどうか？

利便性から現金で給付



手と手をつないで… “安心と絆”

A 教育長
経済的支援は、令和5年1月からの給付を想定しているが、クーポンでの給付の場合、クーポン作成や仕組みづくりの時間を要し、給付開始が遅れる事が見込まれる。また、一時保育事業など町内子育て事業への利用においては、その額面に利用料金が満たない場合があると想定されるほか、クーポン印刷等に必要経費が増え、さらに、子育て支援のための必要物品の全てを町内で揃えるのが難しい現状にある。
利便性の観点からも現金による給付としたい。



問地域通貨を発行してみても

答【町長】事業者の主体性が先決



一般質問の動画はこちら！

小林 栄治 議員



ここには 賑わいがある！
(道の駅たかねざわ元気あつむら)

A 町長
地域経済の活性化を図るために重要なのは、事業の主体者に熱意があるかどうかである。

Q
新型コロナウイルス禍の影響で地域社会は活力を失って来ている感は否めない。そこで、コロナ後の社会づくりと経済活動の両立という観点から、地域通貨の導入について見解はいかがか？

来客数の減少は最大の課題

地域経済の好循環は、先ず事業者の主体的な取り組みがあり、その中で、訴求率のある商品・サービスが生まれてこそ成功していく。そのため、商工団体を柱に、利用者が使いたいと思える店舗や場所となるよう事業者が主体的に考えていただくことが先決である。よって、現状では、地域通貨について進めていく考えは持っていない。



問子育て世帯に経済的負担軽減を

答【教育長】学校給食費などの一部減免を実施



一般質問の動画はこちら！

森 弘子 議員



Q
町は、第2期総合戦略で「子育てを応援」する事業として、「出産・入学祝い金支給事業」を実施し、子どもたちの誕生や小中学校に入学する際の経済的負担軽減を図るとしている。事業として紙おむつ購入助成事業やランドセル贈呈事業を検討しては？

子育て支援の充実

A 教育長
現在、学校給食費と幼稚園・保育園に通う児童の副食費の一部減免を実施し、より多くの子育て世帯を対象にした支援に取り組んでいる。紙おむつ購入助成事業は、他市町の実施方法やその効果等を調査研究をしていく。ランドセル贈呈事業は、家族の中でランドセルを買ってあげたい想いを損ねてしまうおそれから実施はしない。

給食費の無償化

Q
学校給食費の無償化は、子どもの貧困対策や子育て支援、少子化対策に有効な施策である。現在、給食費の一部減免は行っているが、コロナ禍や物価高による家計の経済的負担軽減を行ううえで、更なる子育て世帯への支援として給食費の完全無償化を実施しては？

A 教育長
学校給食の「材料費」を保護者が負担することが「学校給食法」に定められているが、材料費を町が負担することを禁止する趣旨ではないことが国から通知されている。減免後の学校給食費は小学校は月額3千円、中学校は月額4千円。財政状況のバランスを勘案していく必要がある。無償化は考えていない。

問住民主体による

答【町長】第一層協議体の議論を尊重

支え合いの

地域づくり

Q
訪問型サービスBの主なサービスは、布団干しや掃除、買い物代行、調理、ゴミ出し、電球の交換、草むしりなど日常生活の支援である。

A 町長
さくら市には、「住民による生活支援サービス」を行う団体が11団体ある。本町においてもこのような訪問型サービスを行う団体が組織されるよう、今後どのように取り組んでいくのか？



支え合いの地域づくりをいかに進めていくか
第一層・第二層協議体合同勉強会

A 町長
令和4年10月に、第一層・第二層合同勉強会で、さくら市の4団体を招いて、設立経緯やサービス

内容、課題、アドバイスなどの教示をいただいた。この事業については、第一層協議体で議論の俎上になっているところであるが、担い手の発掘や意識醸成、行政の側面的支援といった問題について、どのようなプロセスで進めていくべきか、議論を重ねている。町としては、行政主導生活支援体制を構築していくのではなく、生活支援コーディネーターや第一層協議体の発意や議論の高まりを尊重しながら町の立場で議論を促進していきたい。



問信頼・相互理解を深める社会の基は

答【教育長】人との関わりの重要性を認識

共に成長して行く

大切な道徳教育

Q
豊かな社会の形成の礎は、豊かな人間性の形成にかかっている。本町における道徳教育にどのように取り組まれているか？

A 教育長
児童生徒一人一台タブレットが導入され、ICT教育が推進されていく社会にあっても、小中一貫教育の中で、全小中学校が豊かな心を育んだり、人との関わり合いの中で学んだりすることを大切にして学校教育を進めている。

信頼の輪

Q
人間関係の豊かさこそ、信用社会を作り出す。ICTの進展により様々

A 教育長
各教科等においては、対話的な学びの実現に向けて話し合い活動を意図的に設定している。人との関係を大事にすることに於いては、学校行事等と関連させるなどして全国共通の教材や指導案を活用した授業実践を行っている。また、児童会活動・生徒会活動では話し合いを通して合意形成を図ったり、相互に助け合いながら活動したりと、チームワークを意識した取り組みも実践しており、今後とも人との関わりの重要性を学べるように教育活動を図っていく。



子育て世代と議員との カフェ・ド・ギカイ



テーマは
子育てしやすい
町づくり



みんなのひろば

町議会では、町民と議員が対話をしながら課題の共有と解決に向け、検討する「カフェ・ド・ギカイ」を開催しています。

今回は、「子育てしやすい町づくり」をテーマに、正に子育て中のお母さん方に、日頃感じていることなどを中心に話を聴きました。

11月10日、議員13人が児童館「みんなのひろば」と「きのこのもり」の2か所に分かれ、同時に開催しました。

計13組の親子が参加し、子どもたちの元気な声が響くアットホームな雰囲気の中で、フリートークを行い、お母さん方からは、様々な意見が積極的に出されました。



きのこのもり

悩み・相談・提案・要望など



膝をつきあわせながら...

聴いて欲しい
子育て世代の
声
分野・項目毎の
主な意見



- ### 公園
- ベンチが小さい
 - 駐車場が欲しい
 - 木陰がないので樹木を植えて欲しい
 - 芝の整備ができていない
 - ファミリー公園のベンチが古くて危険、直して欲しい
 - 南区の公園には小さい子向けの遊具が少ない
 - インクルーシブ遊具を増やして欲しい
 - 宝積寺駅東の公園はすごく良いが、夏場の除草など管理をして欲しい

- ### 道路
- 道路や歩道が狭く危険（交差点・信号付近は特に）
 - 信号待ちをする場所を確保して欲しい
 - 宝積寺市街地は、歩道と車道の区別がないので危険な箇所が多い
 - ベビーカーを押して散歩すると道路が狭く、車がすぐ横を通り危ない。横断歩道を含め整備して欲しい
 - 宝積寺駅東口への入口（県道停車場線からちよっ蔵への道）に入る道がわかりにくい。表示が必要ではないか
 - オータニの西側にある路線橋の拡幅をして欲しい
 - 区画整理区域の宝積寺駅西のセブンイレブンから4号線に向かう南下する道路に速度表示をして欲しい
 - こぼと保育園に行く道路が狭い



- ### 医療機関
- 産婦人科がない
 - 小児科が少ない
 - 眼科も1つしかなく混んでいる
 - 1歳以下のインフルエンザ予防接種が町内病院でできないため、さくら市やゆいの杜へ行っている
 - ファストドクターの導入をして欲しい
- ※ファストドクターとは、全国の医療機関から構成されている時間外救急の総合窓口で、症状に応じて救急病院案内や夜間休日往診、オンライン診療などの適切な医療を選択できるように支援している。



産後ケア

- 産後ケアが充実していない。産後ヘルパー派遣を申し込んだら、ヘルパーが少なく打ち切りになってしまった。また、保健師さんからはコンビニで食事を買って過ごしてとも言われ、辛い思いをした。産後ケアの充実に向けて欲しい



通学路の安全対策

- 宝積寺駅から中学校に向かう道路や阿久津小学校周辺の道路が狭く、通学に危険
- 線路や踏切近くを歩くための安全対策をして欲しい
- ガードレールが欲しい
- 阿久津小近くの道路の制限速度を下げて欲しい
- 阿久津小学区の通学路の整備や交通指導員の充実。特に、南踏切と魚鉄付近の道路に常時指導員がいたらいい
- 中央小付近の通学路には歩道がない。通学時間帯は車の通行を規制できないか



行政手続き

- 水道の開栓手続きがオンラインでできるようにして欲しい

保育園

- 途中からの入園が難しく、母親が仕事に行けない
- 益子町は保育料が0歳から3歳まで無料
- 保育園入園時の採点に、兄弟加点(2人同時入園時)をして欲しい
- 第2子の出産にあたり第1子を保育園に入園させたかったが、空きがなく入園できなかった。既に第1子が入園している人は、2人目の産休中に上の子を預けて下の子だけを見ていられるのに、本当に必要な産前産後に保育園を利用できないのは不公平だと思った



高議第129号
令和4(2022)年12月8日

高根沢町長 加藤 博 様

高根沢町議会議長 佐藤 晴彦 様

「子育て世代と議員とのカフェ・ド・ギカイ」からの提言

令和4年11月10日に開催した「子育て世代と議員とのカフェ・ド・ギカイ」において、「子育てしやすいまちづくり」というテーマで住民と意見交換をしました。そこで出された意見を町づくりに反映させるため、町に対し次の提言をいたします。

記

①公園

車での来場希望者が多いことを考慮し、十分な台数の駐車場を整備すること。利用者の希望に沿った遊具や設備を整備すること。樹木や芝などの適切な維持管理に努めること。

②道路

保育園や学校周辺の狭く危険な道路について、整備計画を早急に進め、歩行者(登下校時の児童生徒を含む)の安全を確保すること。道路の安全管理を徹底すること。

③通学路の安全対策

ドライバーのモラル向上のためにも、交通指導員等の見守り体制の強化を図ること。

④行政手続き

行政手続きのオンライン化を積極的に進めること。

⑤子育て支援制度

制度としてあるものを、必要な時に利用できるよう、充実を図ること。

⑥学童保育と児童館

学童保育所と児童館とがそれぞれの機能を十分果たせるよう、利用者の状況に応じた面積の確保について検討すること。

⑦その他

子育て世代から出された意見を真摯に受け止め、子育て支援施策の充実を図ること。高根沢町には他市町より優れた子育て支援施策があることが子育て世代に伝わるよう、周知に力を入れること。

議会から町に提出した「提言書」

子育て世代の想いを 議会から町へ

子育て世代の皆さんから出された意見を受け、これらを町づくりに反映させるため、議会として協議しました。まちづくり・くらしづくり各常任委員会でも所管分野を審査し、さらに全議員による全員協議会に諮り、協議の上、提言書をまとめました。12月8日、左記掲載の提言書に、皆さんからの個別の意見を添えて、町長に提出しました。より良いまちづくりのため、町民に寄り添った議会活動を推進します。



佐藤議長(右)から加藤町長(左)に

議会各会派から町に提出した「提言書」

町の令和5年度予算編成に合わせ、各会派で政策研究を行い、まちづくりに必要な施策・予算措置などをまとめた提言書を9月13日に町へ提出し、その回答がありました。

■各会派の提言項目

◆清流会

- ①集中豪雨等の災害対策
②学校等体育館の空調設備の設置
③農業の推進 ④適正な職員配置

◆晨光の会

- ①持続可能なまちづくりへの課題 ②高齢福祉対策
③安全・安心なまちづくり対策 ④子育て支援対策
⑤教育振興に関すること ⑥農業の基盤対策
⑦社会資本設備の充実 ⑧行政サービスの充実

◆新和会・政友会(合同)

- ①定住促進のための下野花岡駅周辺の宅地化調査費の計上
②市街地活性化のための仁井田駅周辺の宅地化調査費の計上
③地域活性化のための町民広場周辺の宅地化調査費の計上
④野元川一級河川の早期実現
⑤上高根沢地区内県道の信号機設置の県警への上申



提言と回答の全文

中学生とのカフェ・ド・ギカイからの提言

昨年、8月29日に開催された中学生とのカフェ・ド・ギカイで出された意見等をもとに、9月13日に議会が町へ提出していた提言書に対する回答が、12月8日議会に届きました。

将来を担う若者のアイデアや発想、創造力は、大切な財産です。その声が、町政発展のための原動力になることを期待するとともに、議会としても応援していきます。

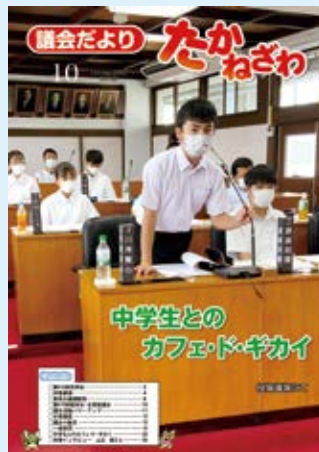
■提言項目

1 学校生活をより良くするために

- ①タブレットなどのICT機器の活用
②学校行事
③部活動
④学校施設の充実や安全確保
⑤校則

2 町全体として必要なことは

- ①町の新たな魅力創造
②道路整備や交通安全
③山林や空き地の整備
④町有施設の充実
⑤教育制度等
⑥商店の充実



※開催の様子は、前号(162号)を参照または、こちらからどうぞ→



前号(P20~23)



提言と回答の全文

インフルエンザ予防接種の助成

- ・助成金を増やして欲しい
・2回目は半額位でお願いしたい(1,600円→800円)
・さくら市の方が助成金が高い



町の子育て環境で良いと思うところは？

児童館や子どもたちが利用する施設、子育て支援センターが充実していて良い



おむつ代の助成やクーポン券の発行の要望

- ・飯能市では1年間おむつとおしりふき代が無料だった。おむつ代は月4,000円から5,000円かかるので助かった
・北本市は1年間おむつ代が無料だった
・益子町は紙おむつの購入助成がある
・1か月後健診でおむつをもらい、嬉しかった。その後も定期的に助成があるといいと感じた
・妊婦や子育て世代の移動手段として、タクシー助成券をもらいたい(松戸市の制度を参考に)



商店

- ・子供用品販売店が欲しい

参加者(子育て世代)へのアンケート<結果>

※質問項目、選んだ理由・自由記入欄は一部抜粋しています。

■カフェ・ド・ギカイに参加して

- ①参加してよかった(13名)
②参加しなければよかった(0名)
③どちらでもない(0名)

★選んだ理由

- ・町がどのように改善してくれるかわかった
・日頃思っていたことが伝えられた
・話しやすい雰囲気だったので自分の意見をたくさん伝えることができた
・議員に直接声を届けられる貴重な機会だった

■議員の受け答えについて

- ①わかりやすい(6名) ②わかりづらい(3名)
③どちらでもない(3名) 無回答(1名)

★選んだ理由

- ・少し声が聞きづらかった
・すぐ答えてもらった
・意見を反映させるのは大変だと思った

■高根沢町は子育てしやすい町だと思いますか

- ①子育てしやすい町(8名)
②子育てしづらい町(1名) ③わからない(4名)

★選んだ理由

- ・子どもを産む病院や0歳児をみてる所がない
・児童館や図書館が充実している
・議員と直接話せる機会があるのもいい
・可もなく不可もなく
・支援が少ない

■子育て後もずっと高根沢町に住み続けようと思えますか

- ①ずっと住み続けたい(7名)
②ずっと住み続けようとは思わない(1名) ③わからない(5名)

★選んだ理由

- ・きれいな施設や公園が多い
・車社会のため利便性を考えてしまう
・医療施設、道路等改善してくれると嬉しい
・この先どうするか、まだそこまで決めていない
・子育て以外は、とても住みやすい町
・道路や支援が充実すれば

■町議会への期待度について

- ①期待している(9名) ②期待していない(1名)
③どちらでもない(2名) 無回答(1名)

■その他ご意見をご自由に記入してください

- ・ありがとうございました。子どもが小さいうちに変えて欲しいところは変わってくれると嬉しいです
・町政をここまで身近に感じたことはありませんでした。また、このような機会があることを期待しています。いつも町民のためにありがとうございます
・今回出た意見を少しでも行政に反映していただけたら嬉しいです
・せっかくの機会だったので、とにかくどんどん話を聞いて頂きたかったです
・とても充実した時間でした。ありがとうございました
・定期的開催してほしいです。ありがとうございました
・検討、よろしくお願いします

加藤 タミさん

お住まい 平田
趣味 旅行
職業 会社員



広報委員の突撃
インタビュー
あなたの声を町政に

地域を、町を元気に 盛り上げる よさこいソーラン

イベントやお祭りをいつも元気に盛り上げてくださる「よさこいソーラン飛晴」会長の加藤さんにお話を伺いました。

衝撃を受けて

Q よさこいソーランを始めたきっかけは？

A 20年前によさこいソーランのビデオを初めて見た時に、その迫力に衝撃を受け、自分も踊ってみたいと思い、練習に明け暮れたことを今でも覚えています。

仲間と踊ることが何より

Q よさこいソーランの魅力とは？

A 踊った後の爽快感ですよね。そして、ストレス発散にもなります。皆で踊ることが楽しくて、やめられません。メンバーとは親戚以上の関係かな。会えないと寂しい。終わった後のおしゃべりも楽しいのよ。

生きる力に

Q 活動内容は？

A チーム名は、「飛晴（ひばり）」です。現在は、大人9人、子ども3人のチームです。

練習は、毎週土曜日の夜7時半から9時まで、花岡集落センターで汗を流しています。

また、地域や高齢者施設でのイベント・お祭りなどで演舞を披露しています。



練習も楽しく、気持ちがりフレッシュ！

忘れられない

Q 印象に残っているステージは？

A 2007年に参加した「第5回日光よさこい祭り」。東照宮・五重塔の前で、約50人で踊ったこと。

アフターコロナを見据えて

Q これからの目標は？

A 自分の体調に合った踊りで末永く、よさこいソーランを続けていくことかな。

コロナが収束しイベントの賑わいが戻り、再び踊りをたくさん披露していきたいと思います。

やさしい町に

Q 高根沢町に望むことは？

いつも笑顔を決やさない元気な加藤さん。長い期間にわたり、会長を務めており、メン

取材を終えて

願っています。そして、高齢者や障がい者にとって、さらにやさしい町になるように願っています。



心を一つに演舞し、拍手喝さい！

バーからの信頼も厚く、とても頼りにされていることが分かりました。議会としても、町民から信頼される議会・議員を目指し、町民の皆様と共に元気な町を創ってまいります。(秀治)

編集後記

11月に子育て世代と議員とのカフェ・ド・ギカイを開催したところ、多くの意見や要望が出されました。それらを実行するには、財源の確保という大きな課題がありますが、高根沢町をもっと好きになっていただけるよう、その声に真摯に向き合っていきます。



マチイロHP



トチギイーブックスHP

